

令和6年度(2024年度)人権教育指導者研修会

# 「外国ルーツ青少年が地域を変える」



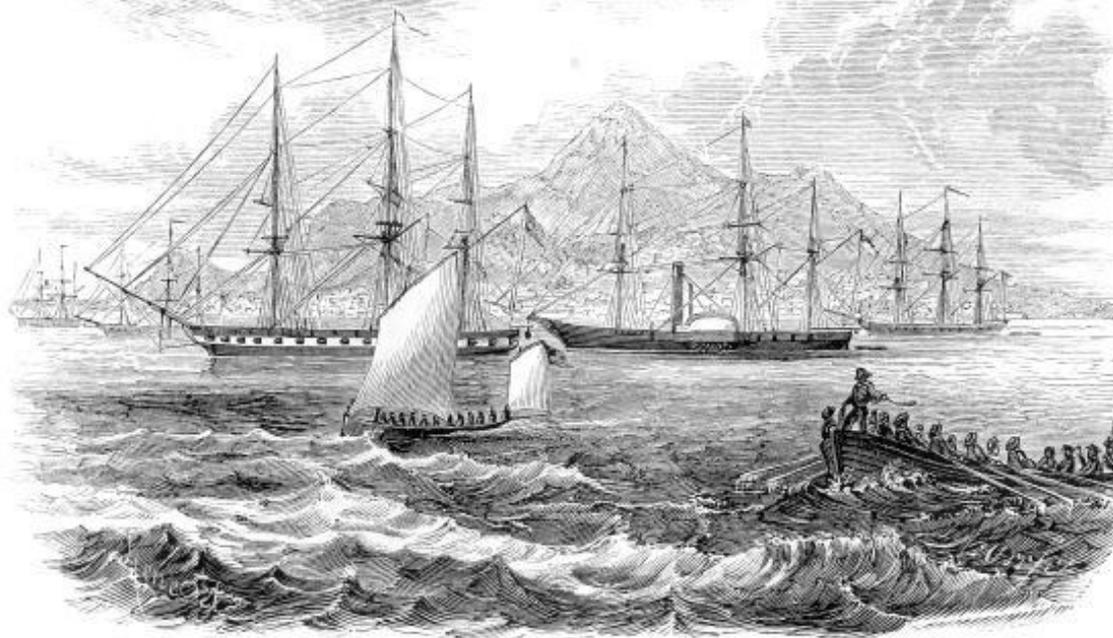
一般財団法人 北海道国際交流センター(HIF)

専務理事/事務局長 池田誠

# 第1の開港

## ペリー来航 1854年 函館

寄港を認め、必要品の供給、一定区域を自由に出歩くことを許可



HAHODADI FROM THE BAY



## 第2の開港

# 留学生が農家に民泊 1979年

七飯町に留学生16名を農家に2週間ホームステイさせる。全国初の草の根国際交流。



# 第3の開港

## 外国人労働者受け入れ

世界から労働力を受け入れる



# ところで、第2の開港 HIFの多文化共生は？

1986年

## 日本語日本文化講座夏期セミナー

海外から多くの優秀な学生が集まる。最初は、日本の経済に、今は日本のソフトカルチャーに関心を。



# 1995年 経営難から多様性への転換

円高、阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件、ハイジャックなどで、団体存続の危機。2000年には、国際交流のつどいが、北海道全体から道南のみへ。事業縮小、経営の危機。



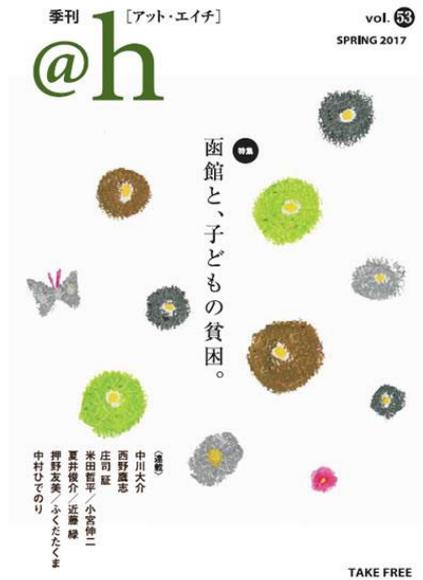
# 2002年 環境保全に取り組む

湖の水質保全、森林の手入れ、ごみ拾いなど



# 2004年 まちづくりを考える情報誌 「ボラット」→「@h」→「CLIP」

フリーペーパーを発行年6回



# 2007年 防災・気候変動を考える

災害時要援護者は外国人も・・・

防災や省エネの講演、セミナー、ワークショップなど



# 2010年 若者・生活困窮者支援

2010年

若者サポートステーション



2017年

生活困窮者支援相談/生活困窮者等の生活・学習支援  
ひきこもり支援/ふるる函館



2021年

就労準備支援事業

# 2014年 女性の起業支援、LGBTを考える



# 2015年 インバウンド事業への関わり

クルーズ船の案内や、国際観光の仕事・人材づくり



# 2015年 アカデミックな連携



東京大学海洋アライアンス、大阪大学フューチャーデザイン、北海道大学、教育大学函館校・・・  
大学と連携し、調査事業の実施。

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



# 2016年子ども食堂とフードバンク

子どもたちに温かい食べ物を、みんなで一緒に。  
つながる好意がフードバンクに。



# 2021年 市民農園の運営

米、じゃがいも、さつまいも、トウモロコシ、イチゴ、トマトなど。そして、酒米を日本酒に。



# どうして第3の開港？ なぜなら・・・課題大国・北海道

- 食糧自給率 200%を超える北海道
- 一方で、農業の担い手が減っている
- 限界集落も増えており、2050年には8割が消滅
- 少子高齢化・過疎化



# 第3の開港のために “多様性”が北海道のキーワード

- 広大な大地と自然がある北海道
- 交流人口と、定住人口が混在する
- 開港都市を抱えるフロンティア精神
- 多様性を受け入れる形「ソーシャルファーム」



# 日本の中のソーシャルファーム 共働学舎新得農場

- 心身にハンディを持った人たち、70名との共同生活をしながら、自給自足の生活を行う。一方、世界一のチーズを生産し、外国人も受け入れ、生活のアドバイスなどを行う。



# 「ここは世界一のパウダースノー」

## NAC(ニセコ)

- 1989年にオーストラリアから来日した一人の外国人、ロス・フィンドレー氏
- 日本ハーモニー・リゾート(株)(ロジャー・ドナザン代表取締役)が次々と買収
- インターナショナル・スクールもオープン



# JICA連携から農業も巻き込む 滝川市

- 滝川市は、JICAと連携して、マラウイやモンゴル、カンボジアなどからの農業研修生を受け入れ。
- 農業者を海外にも送り出すことで、理解を深めており、地域全体の国際化に成功している。



# 難民キャンプ近くに住む元NGO

## 美唄市

- 世界的に有名な彫刻家 安田侃出身
- タイからの研修生を受け入れている
- 障がい者雇用にも力を入れており、チョコレートの生産で日本一



# 町長自ら仕掛けるまちづくり 東川町

- 東川町が日本語学校運営
- 写真甲子園
- 家具・木工の町



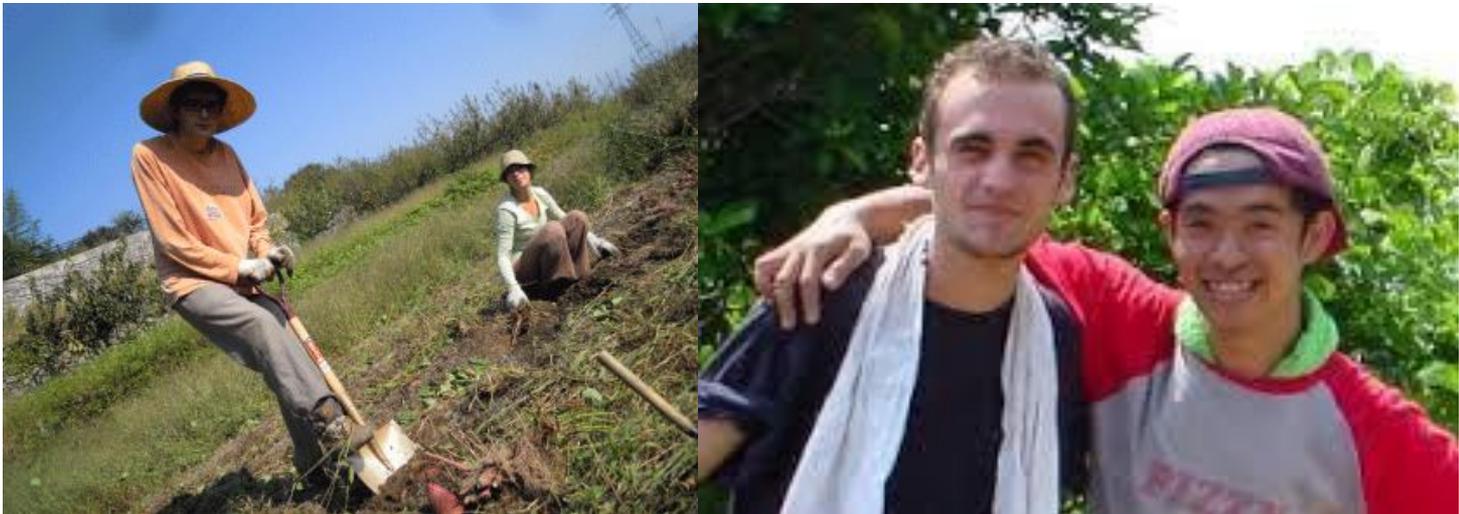
# タイ人の心をとらえた北の果て 歌登町

- 冬の北海道を体験
- 短い時間で、たくさんの日本文化を学ぶ
- 突然の観光客増加で最初は地域の戸惑いも・・・



# 北海道に増えるボランティアたち ワークキャンプ

- 1日4時間くらいのボランティア
- 農家は食事と宿泊を提供する
- いつもエネルギッシュな若い人が集まる



# HIFの人材派遣

## 留学生・インターン・ふるさとワーホリ

- 大学正規生・専門学校等 28時間以内
- 大学等の聴講生・研究生 14時間以内
- インターンシップで更に親日的に
- 日本で働きたい人も多い



# 労働力不足を助ける 技能実習生（農業・漁業・IT等）

- 人で不足を受けて様々な分野で実施
- 受入期間が限定的であることが課題



# そして散在地域の外国人たち 外国ルーツ青少年を活かす

- 少子高齢化に伴う労働力の可能性
- 国際社会への進出基盤づくり
- 異文化の人材の導入による社内ルールの整備
- 語学力など優れた高度人材の活用
- 住民理解のための説明が必要
- 地域社会全体で受け入れる必要性

